

愛知県感染症情報

平成 14 年第 29 週（7 月第 3 週）

今週からレイアウトを変更しました。

流行状況

手足口病 夏かぜウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染。

口の中、手や足の先の水胞性発疹。

- ・ [夏のウイルス感染症](#)
- ・ 定点当たりの報告数は 2.8（先週 3.1）と依然 **流行中**。

ヘルパンギーナ 夏かぜの一つ。咽頭に赤いリングの小水疱と浅い潰瘍。

- ・ [夏のウイルス感染症](#)
- ・ 定点当たりの報告数は 4.3（先週 5.3）と依然 **流行中**。

咽頭結膜熱 発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症。

- ・ 定点当たりの報告数は 0.21（先週 0.26）と **高めに推移**。

麻疹（はしか）

- ・ 定点当たりの報告数は 0.13（先週 0.19）と **減少傾向**。
- ・ 予防には **ワクチンが有効**

無菌性髄膜炎 細菌以外のウイルス等による髄膜炎のこと。

- ・ 基幹定点からの患者報告はないが、**6 定点からコメント**での患者発生報告あり。
- ・ [エコ - 13 型ウイルス](#)による無菌性髄膜炎の **流行に注意**。

カンピロバクタ - 食中毒原因細菌の一つ。

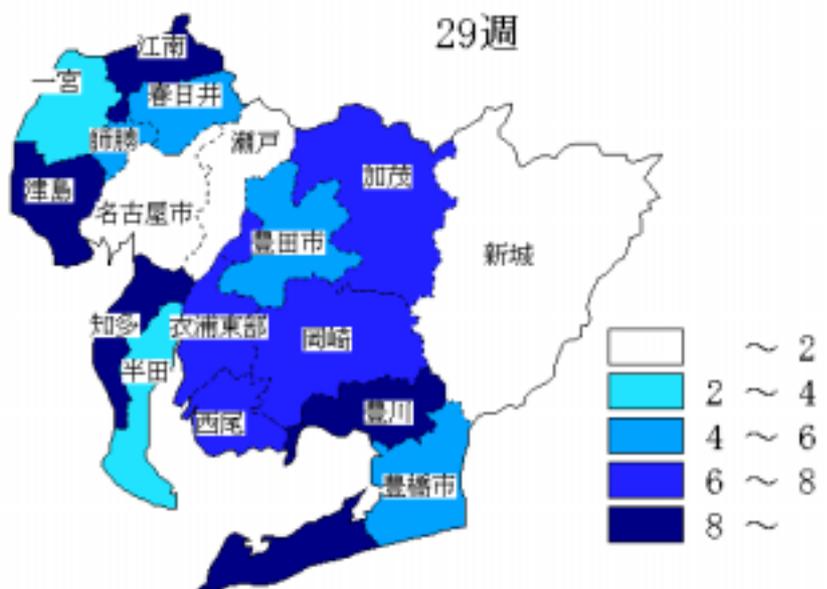
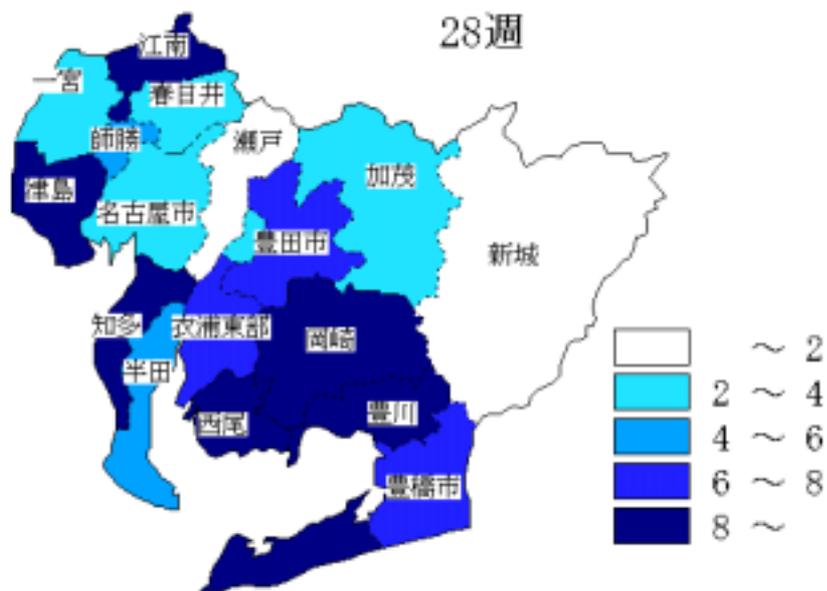
- ・ **4 定点からコメント**での患者発生報告あり。

感染症についての説明及びグラフ総覧については、

愛知県衛生研究所のホ - ムペ - ジ

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。

ヘルパンギ - ナの保健所別推移（名古屋市含む）



	29週	定点 当たり	28週	定点 当たり		29週	定点 当たり	28週	定点 当たり
名古屋市	131	1.87	174	2.49	岡崎	55	6.88	85	10.63
瀬戸	15	1.67	14	1.56	衣浦東部	81	7.36	83	7.55
津島	61	8.71	66	9.43	西尾	30	7.50	51	12.75
師勝	17	4.25	21	5.25	豊田市	37	4.63	58	7.25
一宮	39	3.25	39	3.25	加茂	18	6.00	7	2.33
春日井	45	5.00	35	3.89	豊橋市	33	4.13	49	6.13
江南	79	13.17	77	12.83	豊川	68	8.50	110	13.75
半田	17	2.83	25	4.17	新城	2	1.00	3	1.50
知多	58	8.29	67	9.57					

■ は今週警報が発生している保健所です。

ヘルパンギ - ナの流行発生警報は定点当たり 6.0 を越えた場合に発生します。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

〇1 61歳女

(尾西市 城後小児科)

ヘルパンギ - ナが目立ちます。

(一宮市 田中内科小児科医院)

ヘルパンギ - ナ多発。手足口病も。

無菌性髄膜炎 6人(5歳~13歳)でまだつづいています。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

ヘルパンギ - ナ、手足口病などの夏かぜが増加しています。

溶連菌感染症は少なくなりました。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

カンピロ 8歳男、〇18 29歳男、〇127 2歳男

アデノウイルス様感染症がふえてきました。手足口病もふえています。

(犬山市 武内医院)

8歳女 マイコプラズマ肺炎

(春日町 丹羽医院)

4歳女 マイコプラズマ肺炎

(師勝町 田中クリニック)

尾張東部地区

無菌性髄膜炎がではじめました。

手足口病は少なくなりました。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

手足口病、溶連菌感染症、まだ流行続いています。

水痘やや増加傾向です。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

無菌性髄膜炎ぼつぼつ始まりだした感じ。

(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)

手足口病の流行つづいています。髄膜炎なし。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

手足口病、溶連菌感染症がみられました。

(春日井市 かちがわ北病院)

無菌性髄膜炎流行中。

(小牧市 小牧市民病院)

8ヵ月女、サルモネラ O9、カンピロとの重複感染例 1例。

(小牧市 志水こどもクリニック)

手足口病がとても多いです。

(小牧市 医療法人心正会鈴木小児科)

西三河地区

サルモネラ 13歳女

カンピロバクタ - 14歳女

プ - ル熱 (咽頭結膜熱) あり、ヘルパンギ - ナ

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

3歳女 無菌性髄膜炎

(岡崎市 にいのみ小児科)

9歳 カンピロバクタ -

4ヵ月 病原性大腸菌 O1 VT1 (-)、VT2 (-)

(幸田町 とみた小児科)

2歳男 6月にヘルパンギ - ナ。今回、2回目のヘルパンギ - ナに罹患。

(刈谷市 まついこどもクリニック)

病原性大腸菌 O25 VT (-) 4歳女

伝染性単核症 19歳女

ヘルパンギ - ナの流行が続いています。

(西尾市 山岸クリニック)

とびひがふえてきました。

(西尾市 やすい小児科)

マイコプラズマ肺炎 4歳女

感染性胃腸炎、ヘルパンギ - ナ、ムンプス、手足口病が流行しています。

(三好町 三好町立三好病院)

東三河地区

A型肝炎 3歳兄 (母から感染)、11ヵ月弟 (抗体陽性、症状無し)

EBウイルス感染 (IgM) 散見

無菌性髄膜炎

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

1～3類感染症の発生状況

細菌性赤痢

- ・津島保健所報告 80歳男 7/17初診 7/17診定
菌型 A多価*(+)
症状無し、感染経路不明。

*備考

「赤痢菌のA多価血清」について

赤痢菌の型別検査に用いる抗血清の一種で、赤痢菌ディセンテリ -
(A亜群)1～7型を抗原として凝集反応を示す。

腸管出血性大腸菌感染症

- ・師勝保健所報告 3歳男 7/13発病 7/13初診 7/17診定
菌型 O157 VT1(-) VT2(+)
感染経路不明。

全数把握の4類感染症の発生状況

急性ウイルス性肝炎(A型)患者2名

第27週(14年7月1日～7月7日)の4類感染症の全国状況

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎は夏から秋にかけての少ない時期ではあるが、過去5年間の同時期と比べて定点当たり報告数がかなり多く、都道府県別では大分県(7.2)、宮城県(6.5)、宮崎県(6.4)からの報告が特に多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は今週ピークを折り返したが依然として多く、都道府県別では熊本県(1.7)、高知県(1.4)、三重県(1.3)からの報告が多い。伝染性紅斑は今週急な増加を見せ、過去5年間の同時期と比べて報告数がやや多くなった。都道府県別では、鳥取県(2.3)、静岡県(2.2)、長野県(2.2)からの報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数も、過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多くなっているとはいえないが、ヘルパンギナスの定点当たり報告数は増加を続けており、都道府県別では群馬県(7.0)、千葉県(6.7)、富山県(6.4)などからの報告が多い。咽頭結膜熱と手足口病の定点当たり報告数は引き続き例年と同様、夏の増加を続けている。都道府県別では前者が滋賀県(0.7)、埼玉県(0.4)から、後者が神奈川県(5.6)からの報告が多い。水痘の定点当たり報告数は減少しているが、都道府県別では山形県(4.2)、福島県(4.1)と多い地域が残っている。インフルエンザの定点当たり報告数は順調に減少しているが、都道府県別では沖縄県(2.3)からの報告が多い。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎は全体の定点当たり報告数に大きな変化はないが、都道府県別で前者が岩手県(4.2)と宮崎県(4.1)で多く、後者は宮崎県(6.0)、群馬県(4.3)で増加が見られる。風疹の定点当たり報告数は全体としては例年より低い水準を保っているが、岡山県(0.2)、福岡県(0.2)からの報告が依然として多い。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

忙しがっておりますうちに7月も下旬、梅雨明けとともに本格的な夏到来です。早朝のJRの通勤通学列車は空席が目立ちニコニコした家族連れが沢山乗ってきます。いつも貴重な情報を有難うございます。遅くなりました。7月前半のまとめをお送りします。

- 1 名古屋地区：ECHO13型の夏カゼに合併した無菌性髄膜炎の流行が本県では尾張地区ではじまり全市的に広がっていますが、脳炎脳症などの中枢神経合併症の頻度は幸いなことに低いようです。分離ウイルスもそれほど神経系に障害をきたすような所見はないようです。その他、第一日赤有吉先生からはヘルパンギ-ナとウイルス性胃腸炎、細菌性腸炎、ブ菌性皮膚火傷様症候群、名鉄病院宮津先生からは麻疹は減少、ヘルパンギ-ナは増加、溶連菌増加、城北病院渡辺先生からは発熱、嘔吐、頭痛の患者、成人麻疹、第二日赤岩佐先生からはウイルス性腸炎が多い、千種区今枝先生からはワクチン未接種児の麻疹と無菌性髄膜炎、三菱・岩間先生からは溶連感染症、ヘルパンギ-ナ、感染性腸炎（腸管感染性大腸菌O6, O8）、手足口病、中京病院柴田先生からは手足口病とヘルパンギ-ナ、労災・山田先生からは溶連感染症、ヘルパンギ-ナ、手足口病、膿痂疹、サルモネラ腸炎、大同・水野先生からは麻疹、ウイルス性発疹症、ヘルパンギ-ナ、ウイルス性腸炎、マイコプラズマ肺炎の入院が目立つとのお手紙をいただきました。
- 2 尾張地区：犬山市武内先生からは溶連菌性扁桃腺炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギ-ナがやや多発中、江南市昭和病院からは水痘、麻疹、ウイルス性髄膜炎、瀬戸陶生病院山口先生からは麻疹、手足口病、無菌性髄膜炎の散発、常滑市民病院上田先生からは無菌性髄膜炎、麻疹、ムンプス、水痘、細菌性胃腸炎、ウイルス性胃腸炎が目立ちウイルス性腸炎による脱水で入院する例が目立つとのお手紙でした。
- 3 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは麻疹と無菌性髄膜炎（生後3ヵ月未満でも）、水痘、知立市近藤先生からは水痘、ムンプス、手足口病、ヘルパンギ-ナ、乳児嘔吐症、刈谷市田和先生からは手足口病とヘルパンギ-ナがやや多く、感染性胃腸炎と溶連菌感染症ぼつぼつ、碧南市永井先生からはヘルパンギ-ナ流行中、豊橋市宮澤先生からは手足口病、ヘルパンギ-ナ、溶連菌感染症などが少数例ありとのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2 0 0 2 年 6 月 7 日号 (7 7 巻 2 3 号)

ペスト：マラウィ。4月16日 - 5月27日、71例届出。同国厚生省は隣国モザンビークと協力し保健担当者の教育を含めて資材供給など対策活動展開中。

ポリオ根絶：ナイジェリア。00年1月 - 02年3月。同国では97年、ポリオ生ワクチン全国一斉投与(National Immunization Days, NIDs)と急性弛緩性麻痺(Acute Flaccid Paralysis, AFP)のサーベイランスが開始された。本報は現状のまとめである。定期接種率：確実な報告網はないが00年に3回接種完了したのは推定で38%。追加定期接種(Supplementar Immunization Activities, SIAs)：ワクチン供給などの問題から01年の実施数はやや減少、流行地区を対象として約2千万名が接種をうけている。

AFP届出：01年1940例。うち65%がウイルス学的検査実施。

1型野生株と3型野生株(地図あり)が主流。

インフルエンザ対策：地球規模(2)。専門家会議協議事項(グローバル・アジェンダ)のまとめ：アジェンダの必要性和目的：地球規模のインフルエンザ対策。サーベイランス強化、インフルエンザの重要性に関する知識普及、疫学的調査網とウイルス学的な国際的検査網確立(動物における検索を含め)、ワクチン接種増加のためのワクチン供給改善と抗ウイルス剤提供。

5月31日 - 6月6日届出。コレラ：ウガンダ、ペスト：マラウィ。

2 0 0 2 年 6 月 1 4 日号 (7 7 巻 2 4 号)

静脈血栓症と航空機旅行：いわゆるエコノミークラス症候群についてこれまでの報告をもとに発生状況、頻度、危険因子などの疫学調査と予防法の研究がWHOを中心に国際的に開始された。

インフルエンザ(02年6月)。アルゼンチン：A型とB型の混合流行。散発。チリ：A型。散発。香港：A(H3N2) > B型ウイルス。

世界各国のポリオ：01 - 02年ポリオ様急性弛緩性麻痺届出数。目立つのはエチオピア、コンゴ、ナイジェリア、ウガンダ、アフガニタン、エジプト、イラン、イラク、パキタン、スーダン、イエメン、ロシア、バングラデシュ、インド、インドネシア、タイ、中国、フィリピン。但し野生株ウイルスが常在しているのはアルジェリア、アンゴラ、エチオピア、マリ、ナンビア、ナイジェリア、ザンビア、アフガニスタン、エジプト、パキスタン、ソマリア、スーダン、インド、となっている。

6月7日 - 13日届出。コレラ：インド、シンガポール(輸入例)。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第29週(平成13年12月31日～平成14年7月21日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	35,688	337	4,716	23,740	8,498	3,701	1,580	3,554	47	96	4,433	1,978	5,740	12	600	0	2	2	57	1	21
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,055	224	3,321	15,990	6,382	2,306	1,215	2,723	29	67	3,742	1,561	4,740	8	430	0	2	2	57	1	21
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	7,633	113	1,395	7,750	2,116	1,395	365	831	18	29	691	417	1,000	4	170					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,301	35	483	1,101	412	415	30	151		6	80	80	335	1	14					
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,229	3	55	1,077	371	78	92	119	1	7	275	72	259	1	26			2		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		794		20	1,218	101	36	19	59		6	97	29	19	1	14					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,068	18	378	2,321	684	174	68	333	3	3	199	225	288	1	28					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,955	10	379	791	761	258	133	221	3	6	147	131	208		25		1		2	5
	江南	6	6	1	2		1,780	43	338	1,506	430	110	89	67	1	5	224	65	198		22					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	15	94	497	242	93	205	126	1	2	64	132	199		12				1	12
	知多	7	7	2	2		2,383	33	104	948	402	278	82	209	4	7	356	224	195		15					
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,984	14	343	114	791	245	149	415	4	2	432	70	698		112					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,475	8	273	1,019	666	134	94	255	5	7	457	198	247	1	17				1	
	西尾	4	4	1	1	1	281	4	56	460	208	16	14	60		6	157	21	105	1	54				1	3
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,416	15	150	857	352	184	65	175	5	7	227	101	564		34			2	19	
	加茂	3	3		1		366	1	23	301	89	65	9	62			34	39	210							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,013	14	433	2,104	502	94	75	269		1	430	72	693	1	55		1		24	
	豊川	9	8	1	2	1	2,557	11	189	1,676	323	117	87	197	2	1	546	94	438	1	2				7	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		3		48	9	4	5		1	17	8	84							

